



櫟(けやき)

櫟

流山市立常盤松中学校

いよいよ夏がやってきます

校長 澁木 宏紀

先日、気象庁から6月から8月の3か月間の天候の見通しが発表されました。それによると、記録的な暑さとなった昨年の夏ほどではありませんが、梅雨入り前から暑さは本格的になるとのことでした。本格的に暑くなる前に、暑さに慣れることや、熱中症の対策を進めてほしい、と呼び掛けていました。本校では、暑さが厳しくなる前の今の時期に、無理のないよう、子供たちが“じんわり”と汗をかき、身体を暑さに慣らす「暑熱順化」に取り組んでいます。6月、7月は部活動の大会もあります。安全に子供たちが部活動に取り組めるように、熱中症対策を進めてまいります。寝不足やエネルギー不足による発汗機能の低下により熱中症の危険が増えると言われています。ご家庭でも、睡眠時間を十分に確保すること、朝食を摂ることについてご留意くださるよう、お願いします。

さて、子供たちにとっても、学校にとっても、忙しかった5月が過ぎました。5月16日には市内大会の一日目を実施されました。運動部の各部とも、これまでの練習の成果を発揮できるよう、全力で取り組んでいました。私も子供たちの頑張る姿を応援しようと会場を回らせてもらいました。一日ですべては回れませんでした。市内大会の2日目にあたる6月6日には、前回応援できなかった部活動中心に回りたいと思います。



5月12日(月)から14日(水)まで、2年生が林間学校で裏磐梯方面へ行ってきました。1日目は自然体験を行いました。あまり天候に恵まれず、曇り空の下での体験でしたので、「絶景」を見ることができませんでしたが、ガイドの方の説明を聞きながら、裏磐梯ならではの自然を学びました。2日目は喜多方の農家さんたちにお世話になり、農業体験を行いました。清々しい青空の「絶景」のなか、喜多方でしかできない貴重な体験と農家の方々と交流することができました。3日目は「いわき震災伝承みらい館」で語り部の方々から、震災について生の声をお聞きし、「いのちの大切さ」「自分の命を大切にすること」を学ぶことができました。これ以外にも、飯盒炊爨、キャンプファイヤー、バスレクなど、この2泊3日の林間学校で、2年生は失敗もしながらも自分たちで活動することで、逞しく成長する姿が見られました。これから常盤松中学校の中心として活躍する2年生に期待しています。

5月21日には生徒総会がありました。今年度の活動について話し合いました。今年度のスローガンを「明声～笑顔あふれる常中を～」とし、校内では「スポーツ大会」、地域では「小学校との交流」をまず進めていくことになりました。

最後に、5月15日の学校運営協議会では、地域の方々に本校の授業の様子を見ていただきました。同じ地域の八木北小学校と共に、今年度の学校運営について説明をし、ご理解をいただきました。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



6月も市内大会、3年生の修学旅行、部活動壮行会等行事がたくさんあります。常中生の頑張りに期待しています。

【ご連絡】

- ① 増設校舎の工事の準備に時間がかかっている模様です。6月中には工事が始まります。
- ② 熱中症対策として7月1日から登校時刻を遅らせ、朝のうちに部活動を行います。詳細につきましては、スキットメールで後日お知らせします。